

オロチの末裔 第2章

きらく家 しゅうへい



魔界
マンドーラ



何者だ？
我を龍帝アルファンと
知っての狼藉か

りゅうてい
龍帝アルファン

オロチの末裔



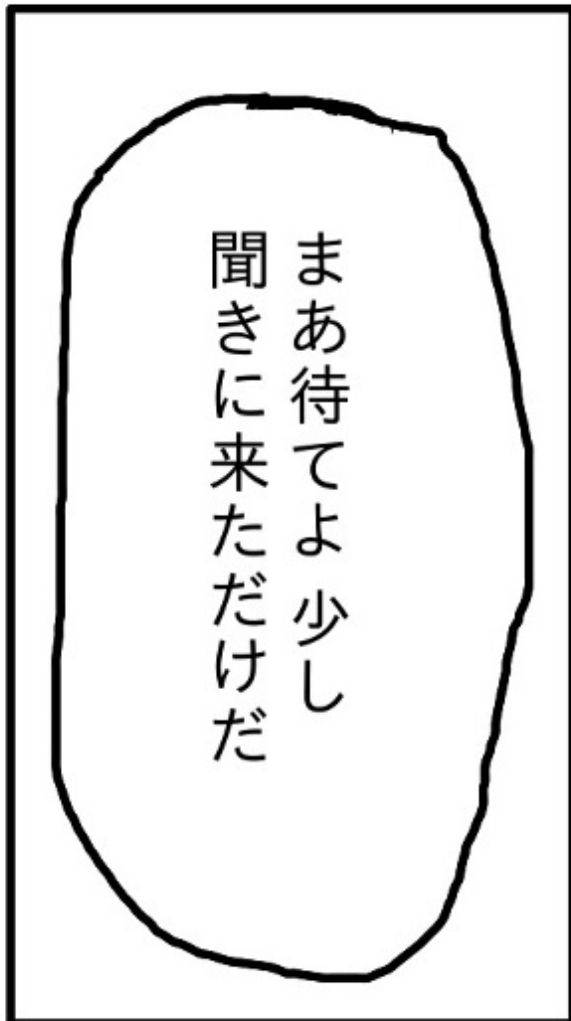


おろろろろろ
ろろろ...



アルファン様
そのくらいで
お許しください

側近
スイ



まあ待てよ少し
聞きに来ただけだ



口を挟むからだ
スイこいつは
お前のために
使っているだけだ



その忌々しい
手を生やして
追い払えピン

ブグ

オロチの
いばしよ
居場所をよ





ひえっ!!



お主いまオロチと言ったか
あやつがなぜ魔界におる
お主は何者だ



俺は「オロチの末裔」だ
なんだここには
いないのか
かつて龍の国を
どつちらが治めるか
争つたお前なら
知つたのだ
思つたのだ
鬼の町なら
行つてみよう

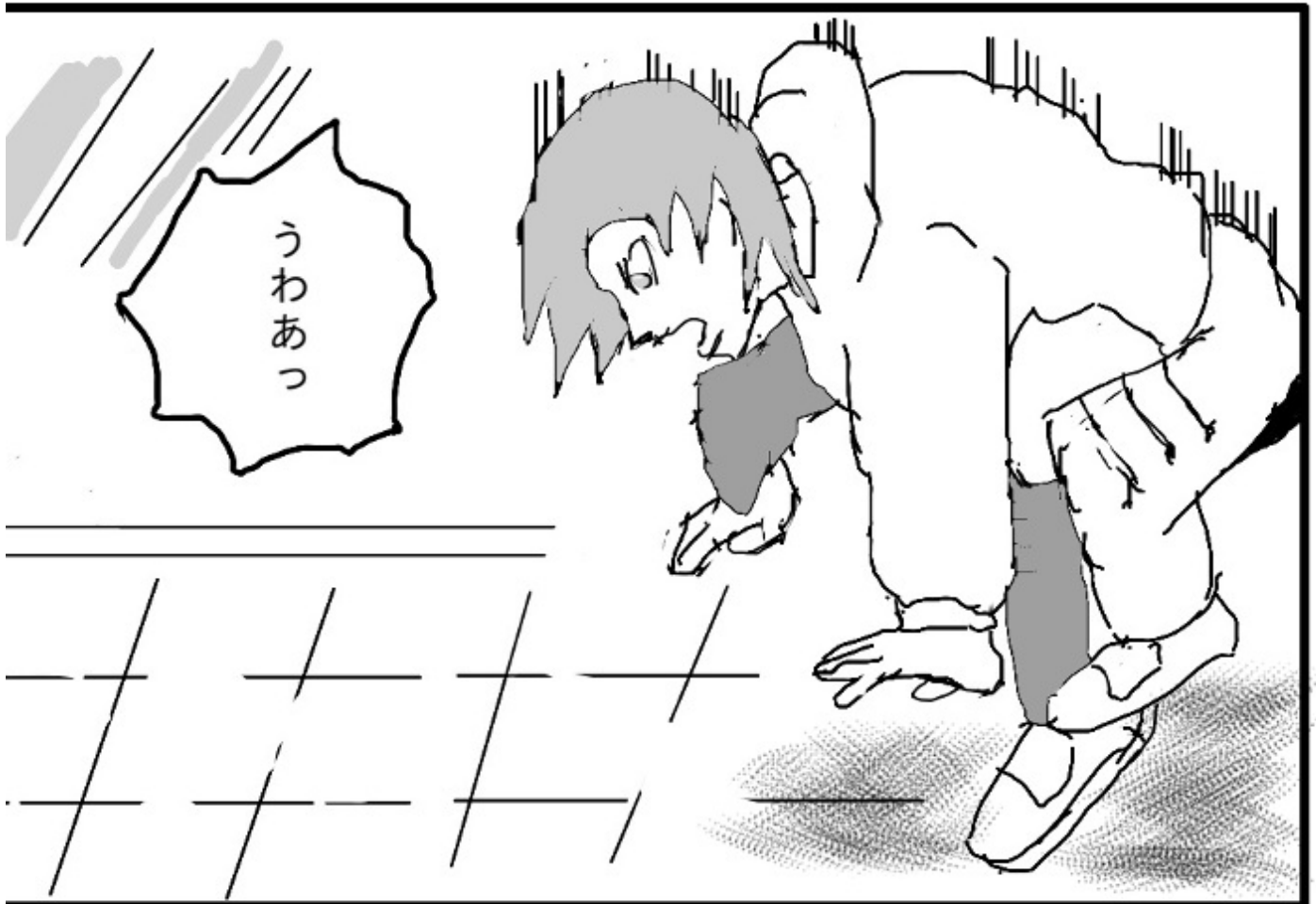
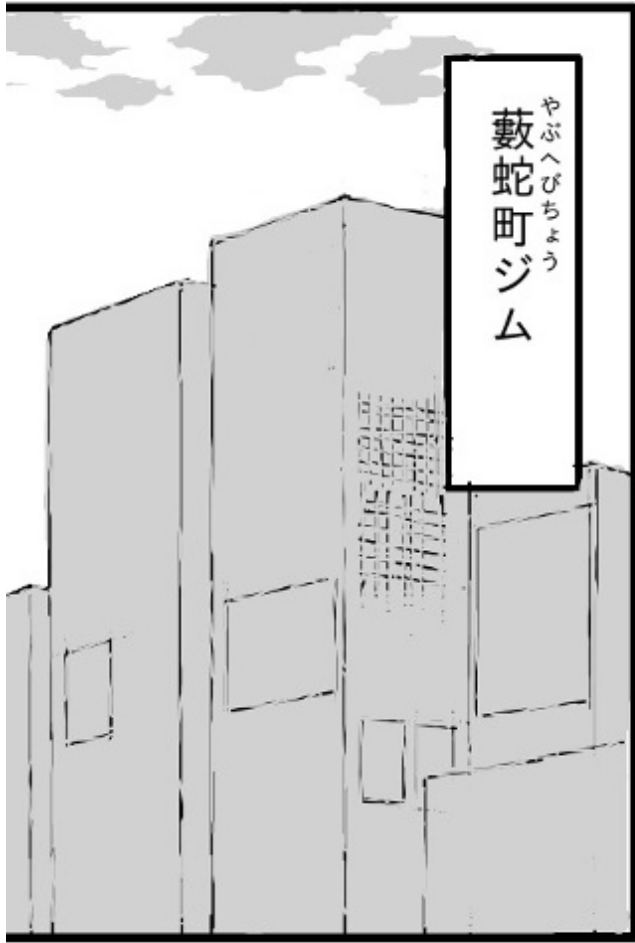


ガク

鬼の町は同盟を結んではいるが
古代妖魔を呼び出されたら厄介だ
「荒くれマンドーラ」でもまずい
自分達の町を滅ぼしかねないがな
あやつ、鬼の町に連絡をしろ
今から向かうぞオロチは私刑にする

おいつ貴様・・・







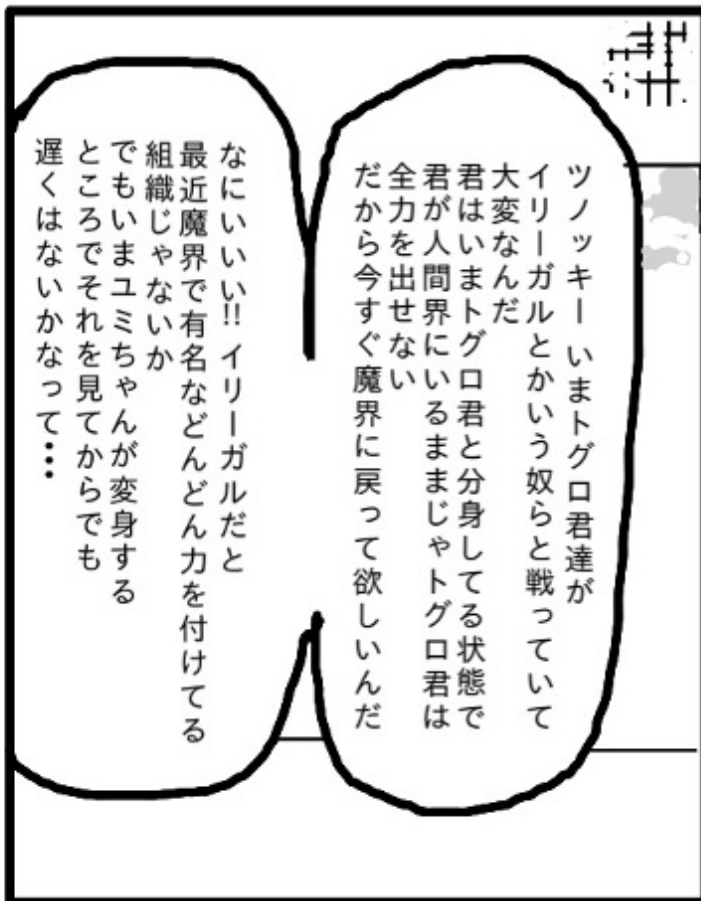
ああその話なら僕は良くて
それどころじゃないんだ
ツノツッキーは？



犬の妖魔の末裔
犬宮 ユミ

ケルペロスの妖魔
はくびょう
白美曜（オス）

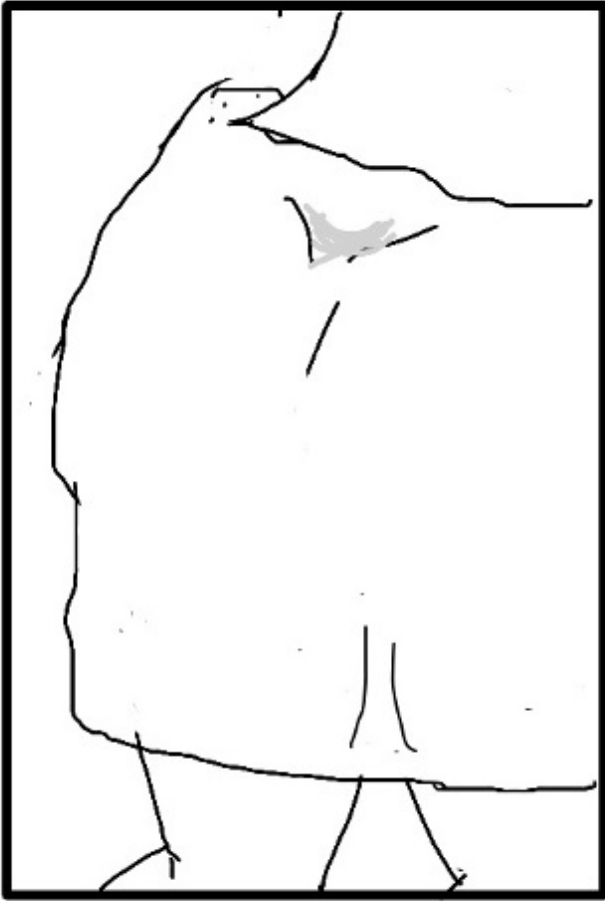
あつ純くん私は
いまツノツッキーちゃんから
召喚の仕方を教えてもらって
あの…魔界に行けると

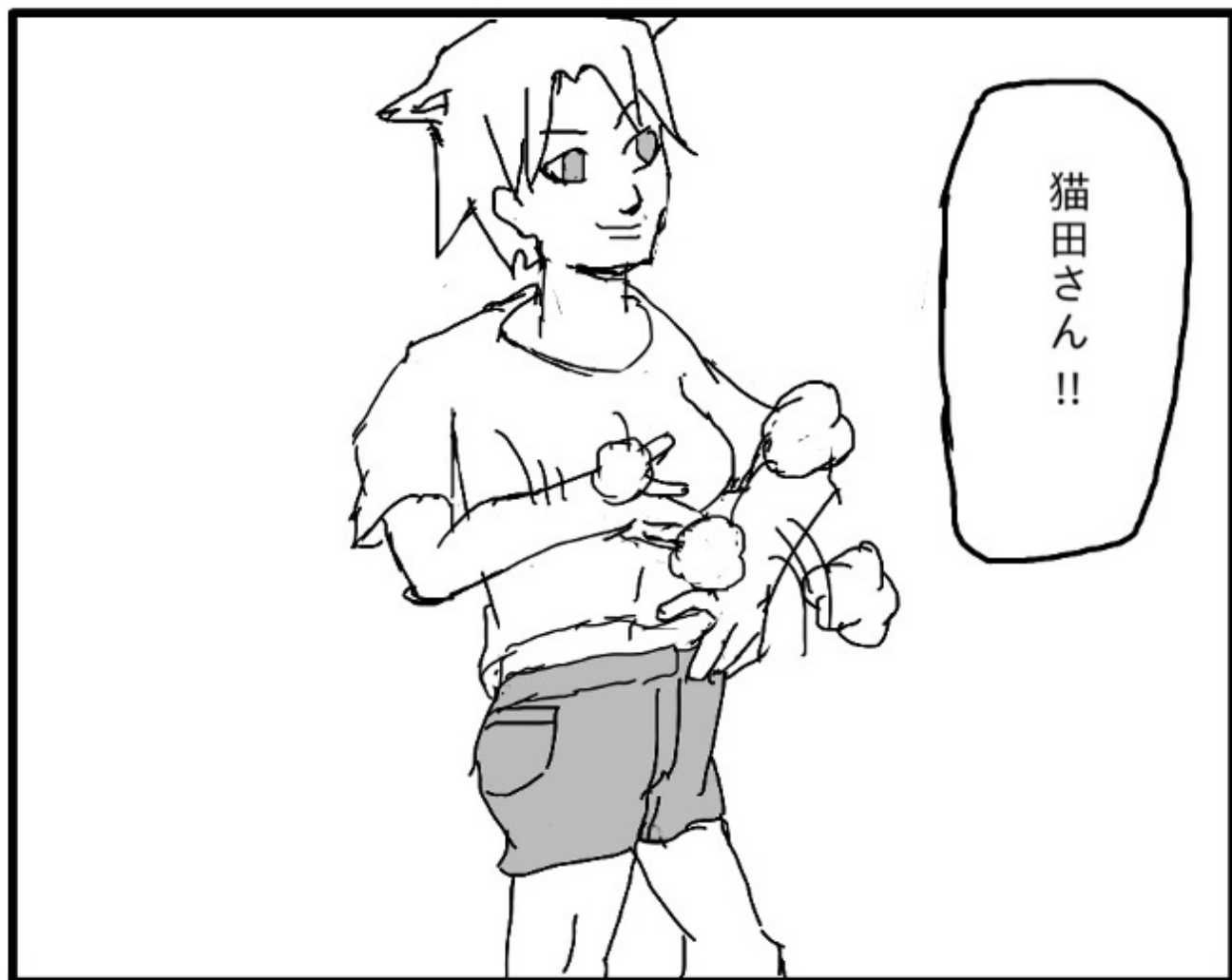
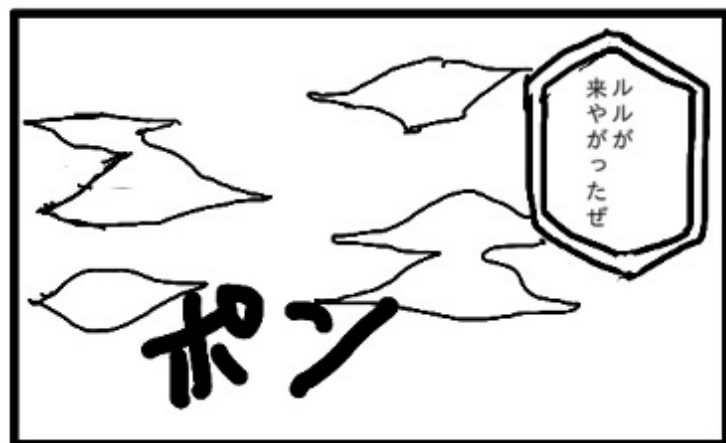
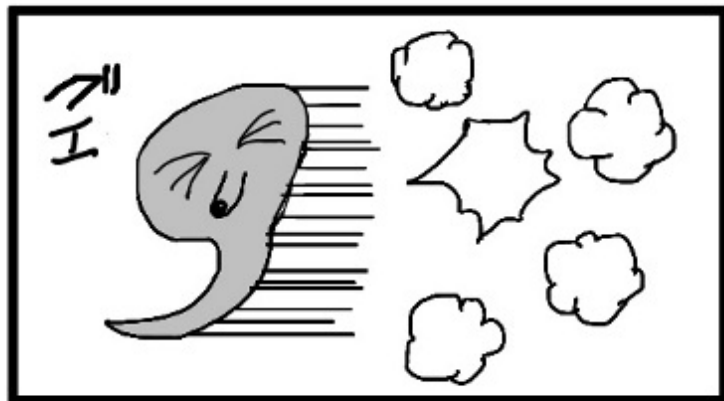


ツノツッキーいまトグロ君達が
イリーガルとかいう奴らと戦っていて
大変なんだ
君はいまトグロ君と分身してる状態で
君が人間界にいるままじゃトグロ君は
全力を出せない
だから今すぐ魔界に戻って欲しいんだ
なにいいい!! イリーガルだと
最近魔界で有名などんだん力を付けてる
組織じゃないか
でもいまユミちゃんが変身する
ところでそれを見てからでも
遅くはないかなって…











烏丸君が魔界に行けないこと
がすごく残念でっ



ありがとう
これでトグロ君が
全力を出せるよ

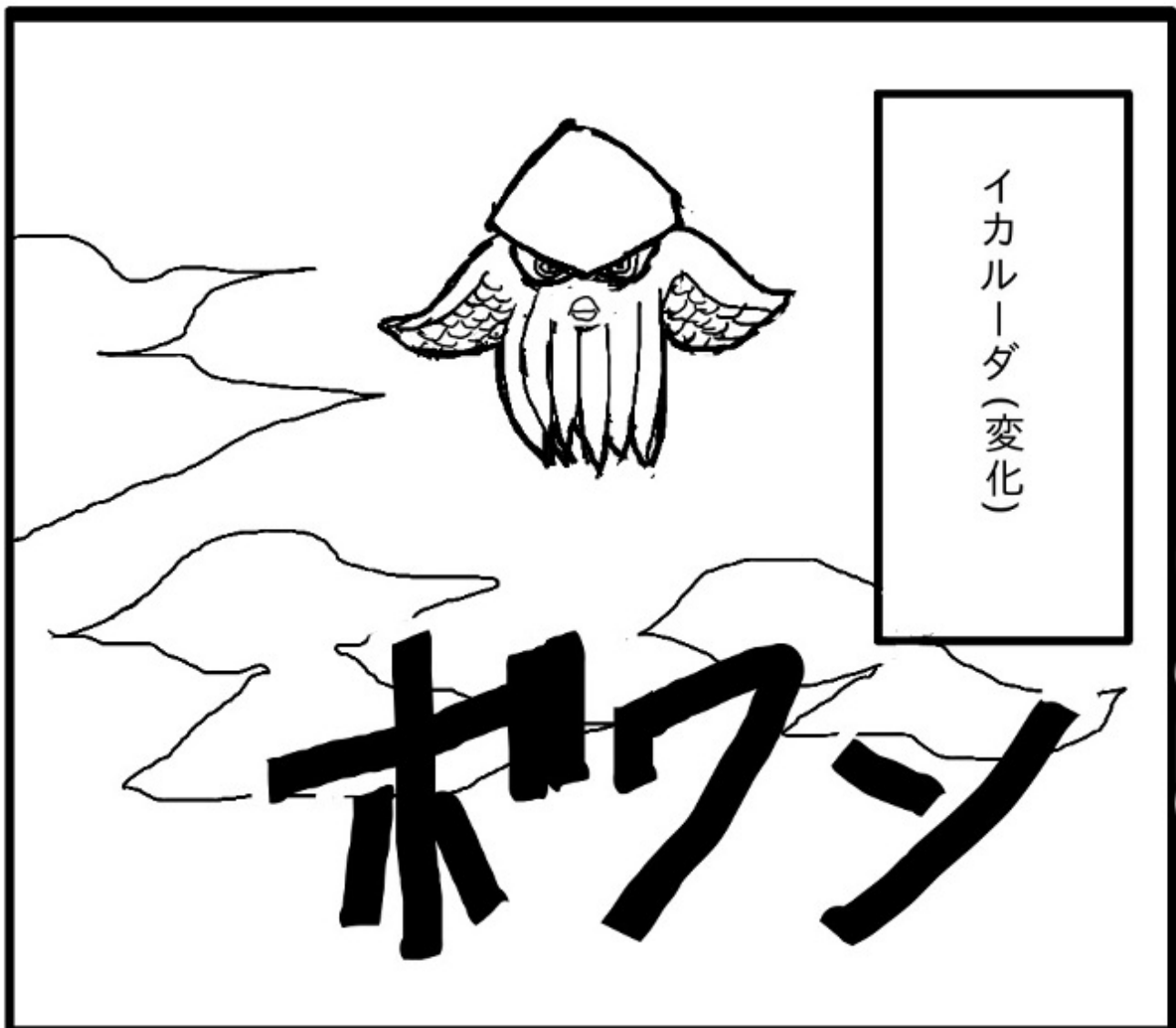


ジュン今の私すごく
かっこよかったよね

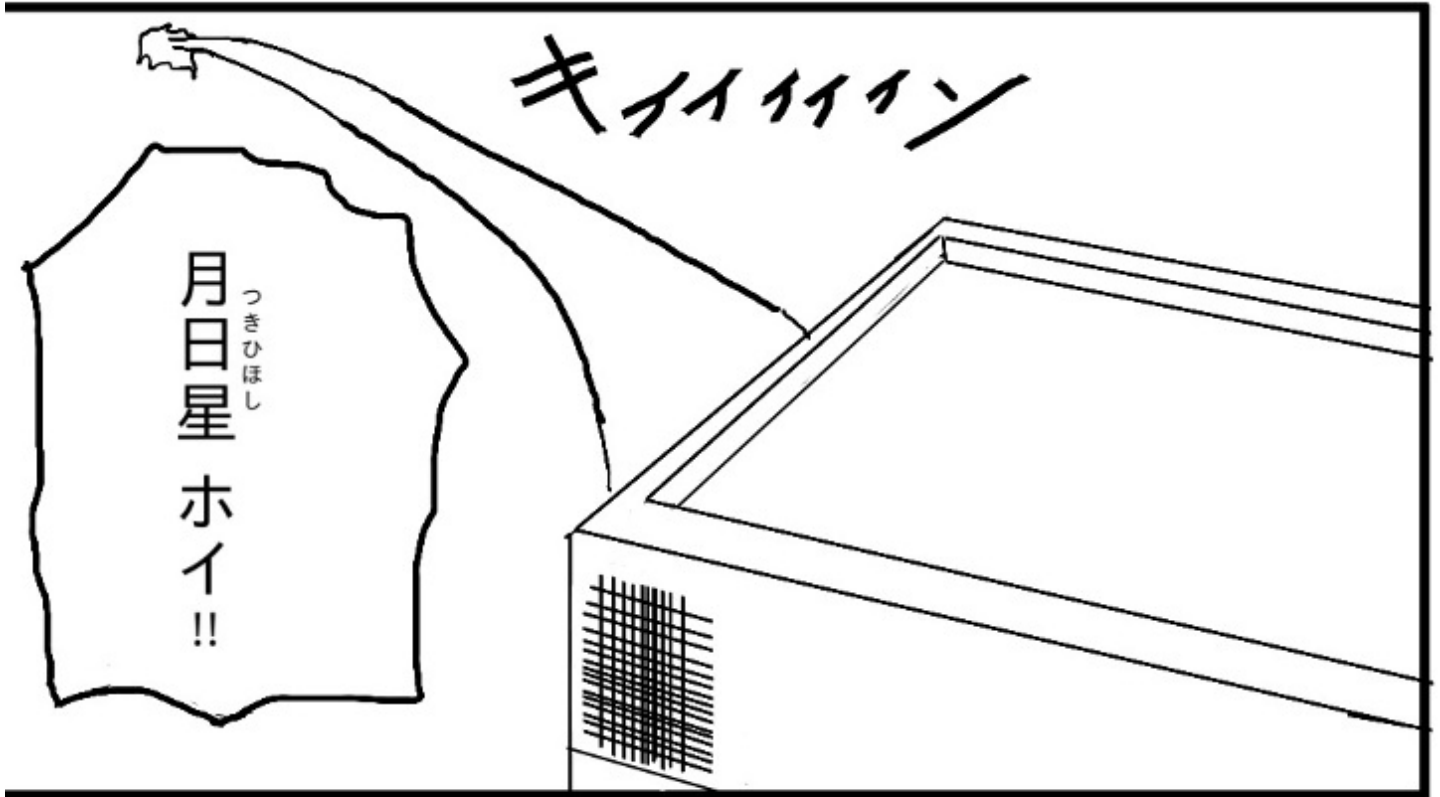
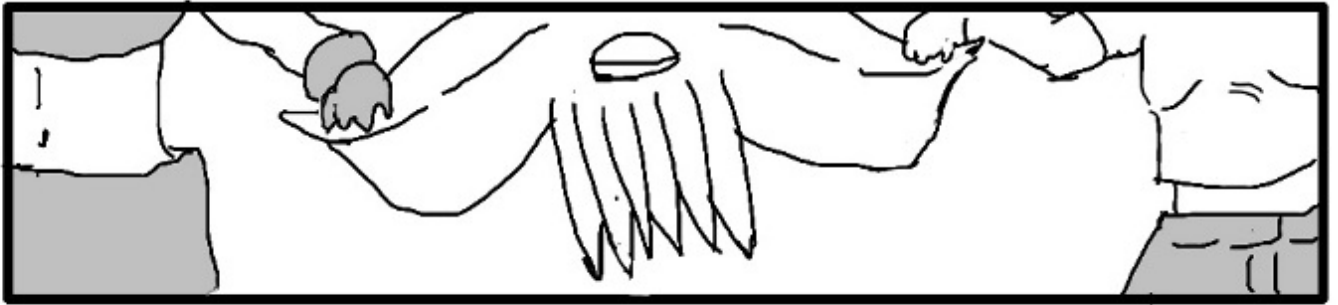
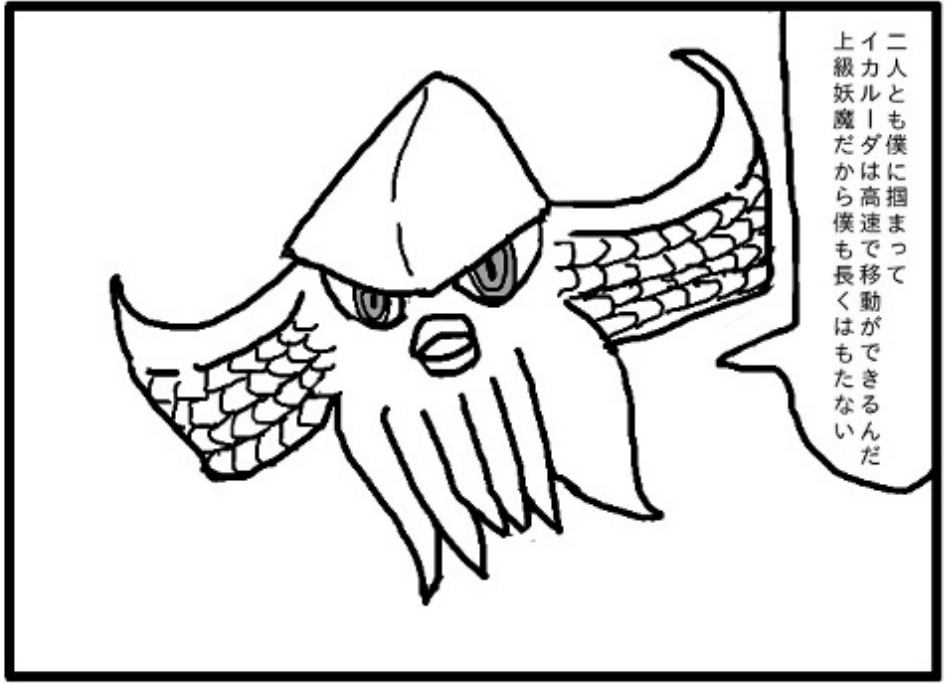


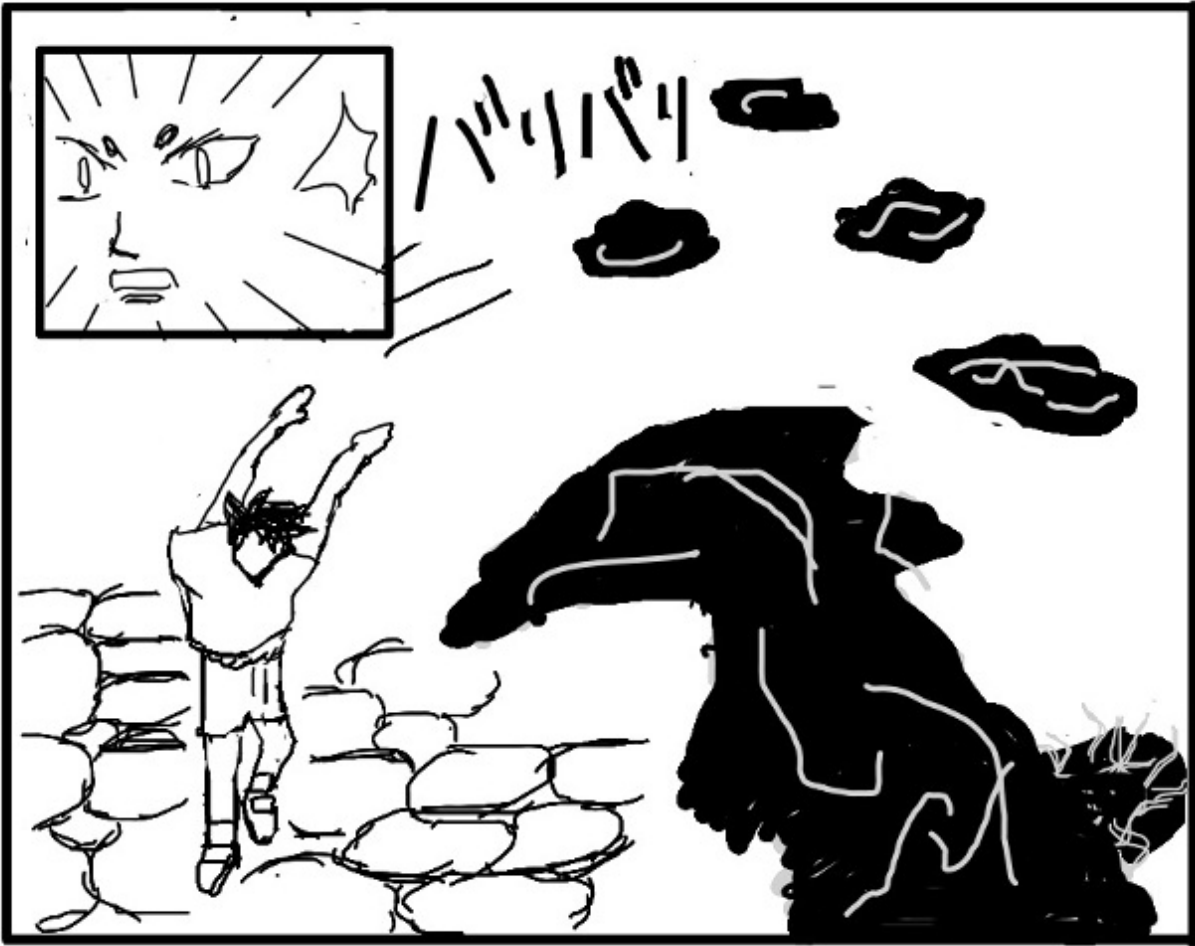
僕の家系は不死鳥一族と言われている
祖父やお父さんと見た目もそっくりで
妖魔化した時の記憶も共有するクローン
として生まれてくるんだ
今までの記憶の中でも僕は力が弱い方で・・・
今・回・の・僕・は・と・も・弱・い・ん・だ

仲間になれるかトグロ君を見るために
キョウ君が僕を操ったとはいえ
僕がオロチさんを魔界に帰してしまった
もうこれ以上みんなの迷惑になりたくないんだ
だからもういいんだ

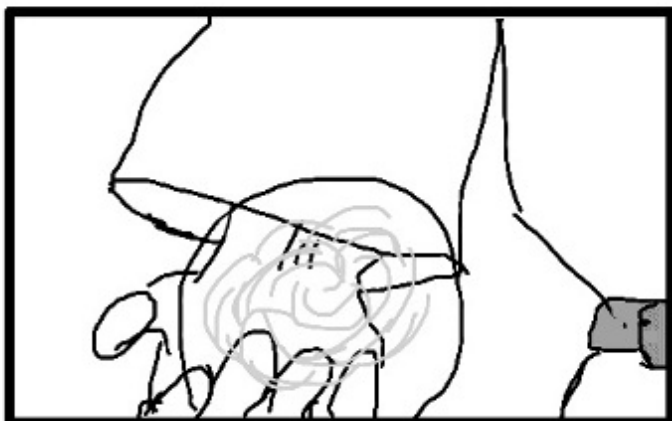
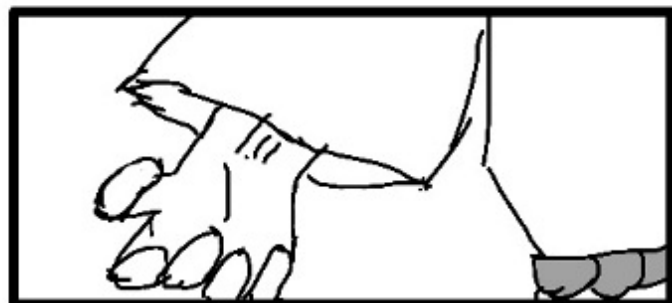


うん分かったにや



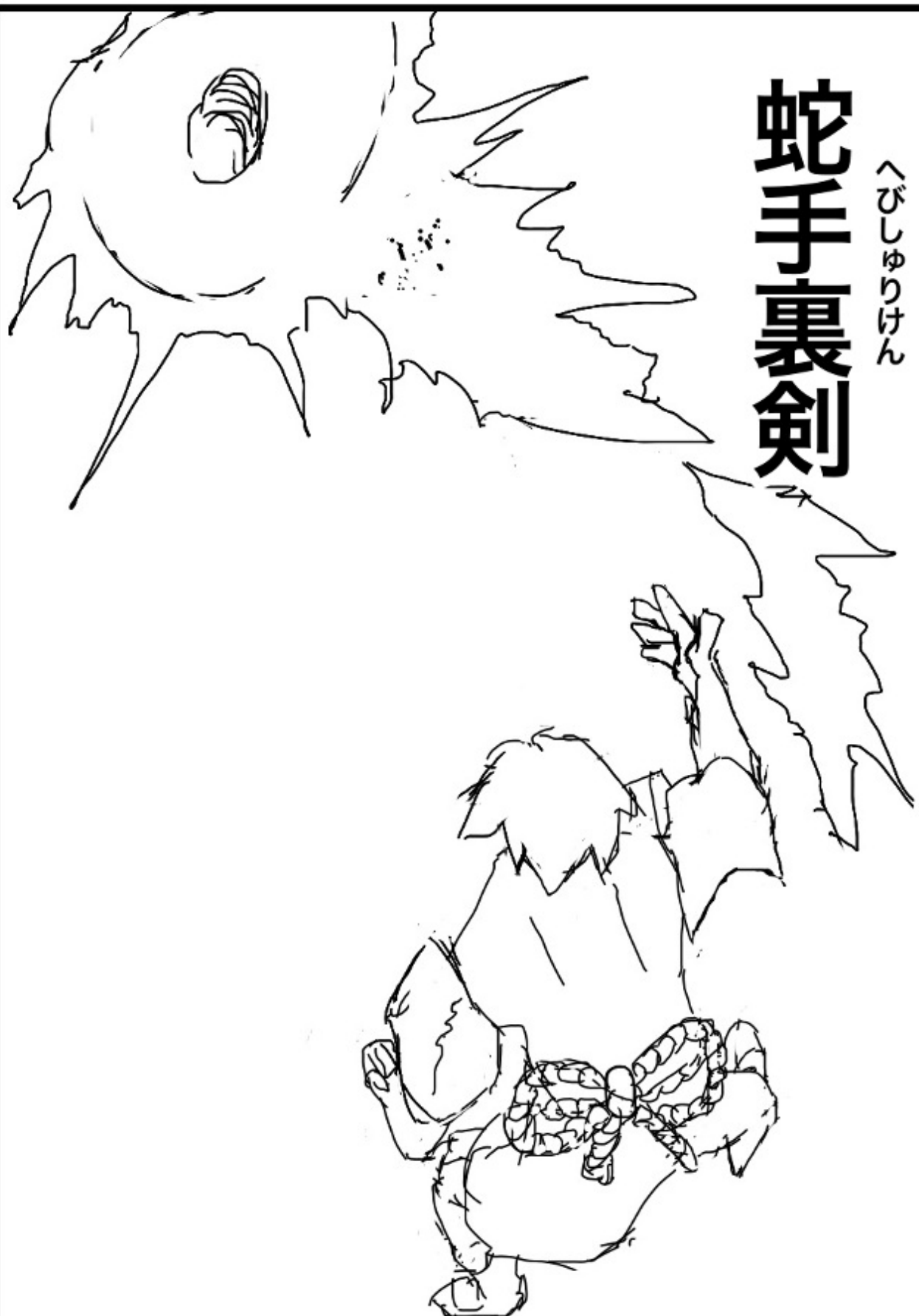


やったぜ烏丸
分身が戻った
これで全力が出せる



へびしゅりけん

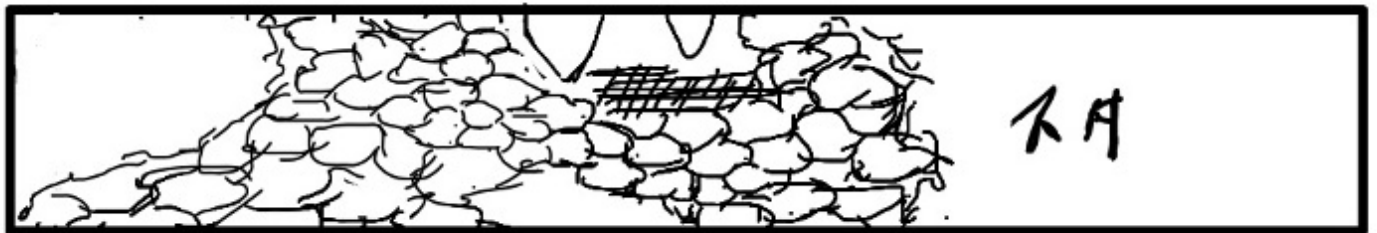
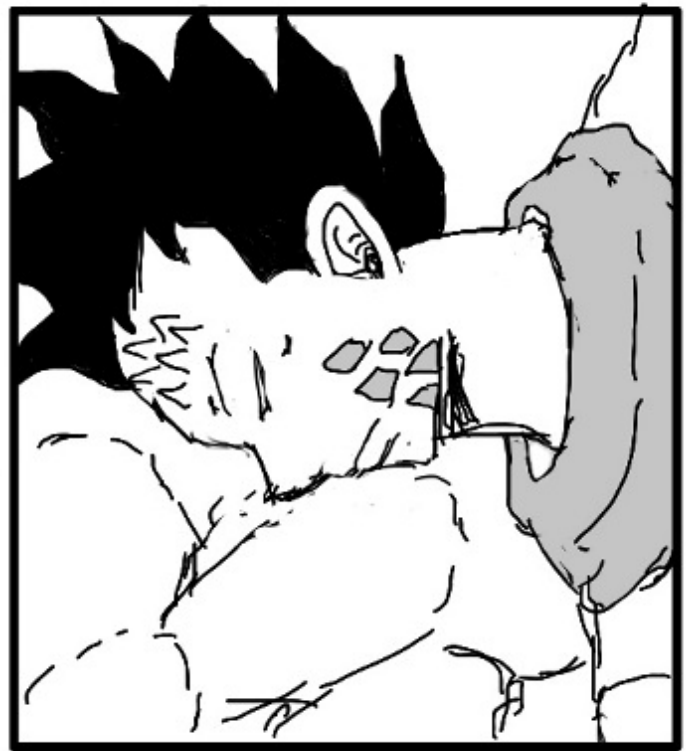
蛇手裏剣

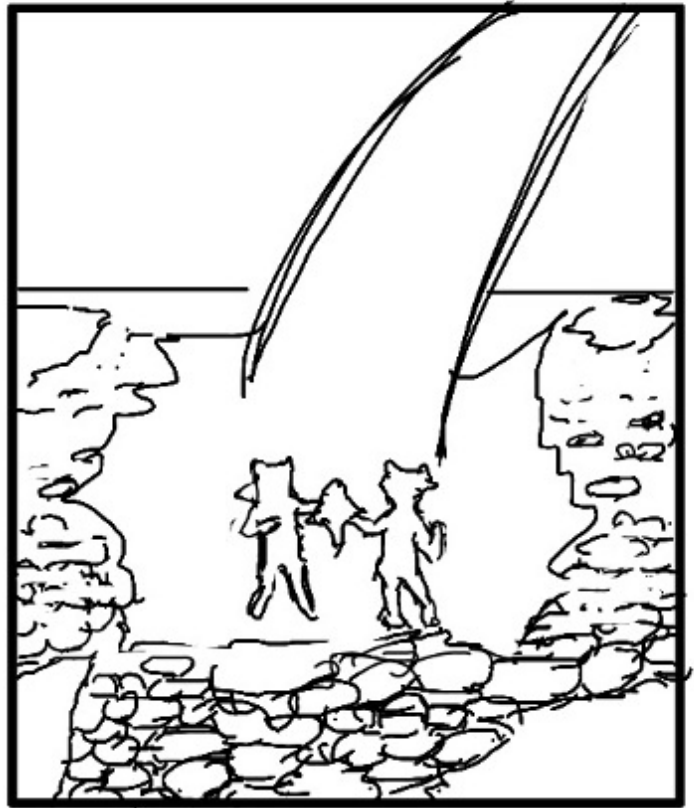




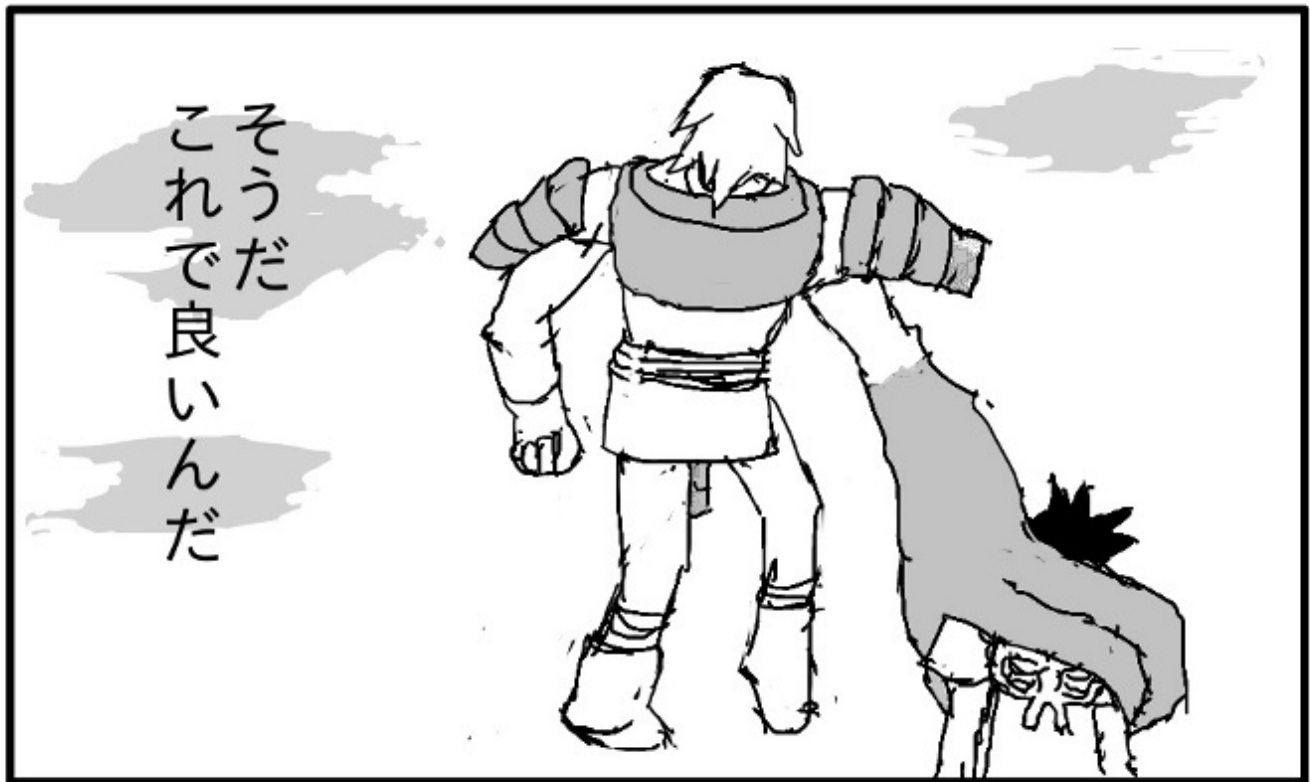




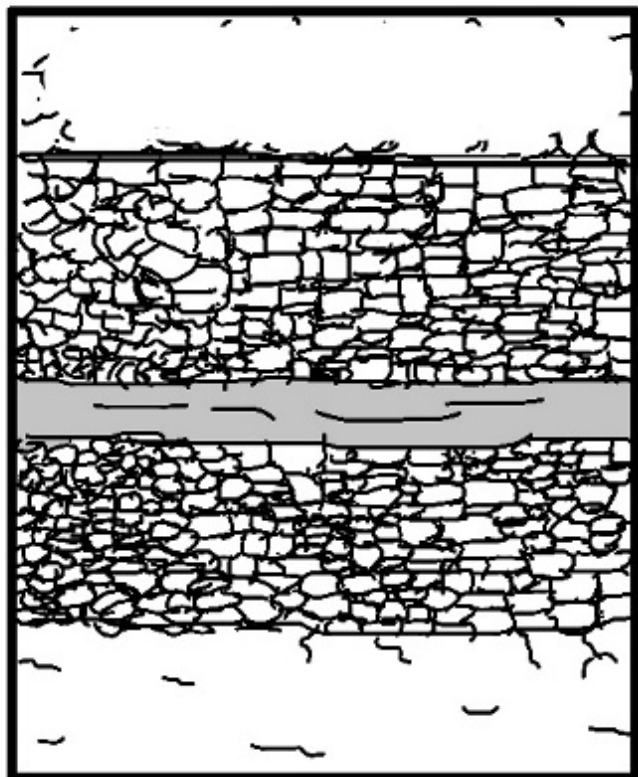




あいつは馬鹿
も奴隷に
他の奴隷
いれたい
オロチに
いグロウ
もこの世
伝えないよ



そうだ
これで
良いんだ



あれだ
他の妖魔から
門族の名前を
聞こうそれでいい



トグロ君は
どこにいるんだい
姿が見えない

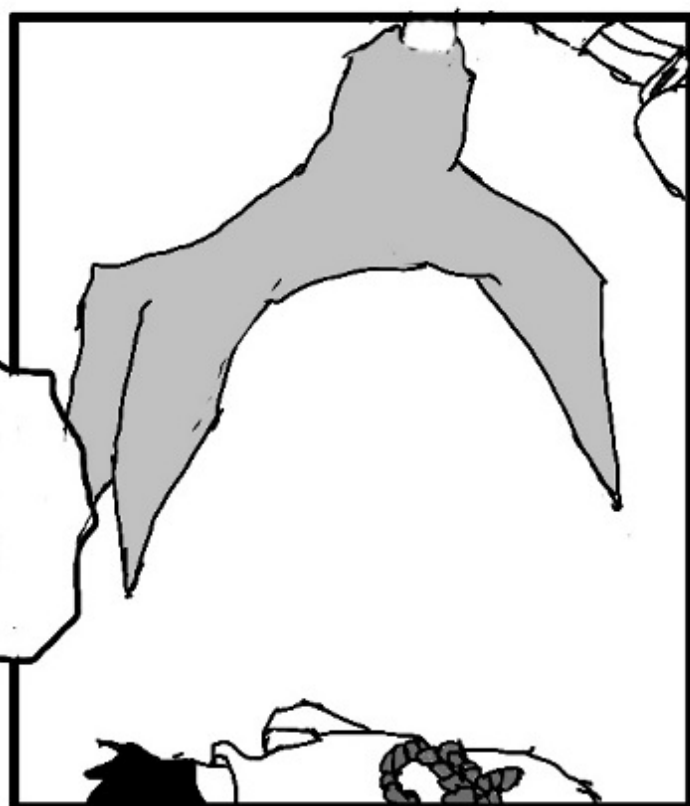


離れようこれ以上は戦えない
俺は魔界を見たいだけだ
俺に仲間はいない
ルルはお前達に比べ強かった
あいつは惜しいがしょうがない
死んだと伝えればいいだろ

他の妖魔から聞くって
もしかして刹那に
なれるのかい？
ほっといたのじゃないか
僕は仲間じゃないか
こうなったのは
僕らのせいだ
いつもトグロ君と
修行してたじゃないか



トグロ君



こんなの
ありかよ



時間切れだぜ



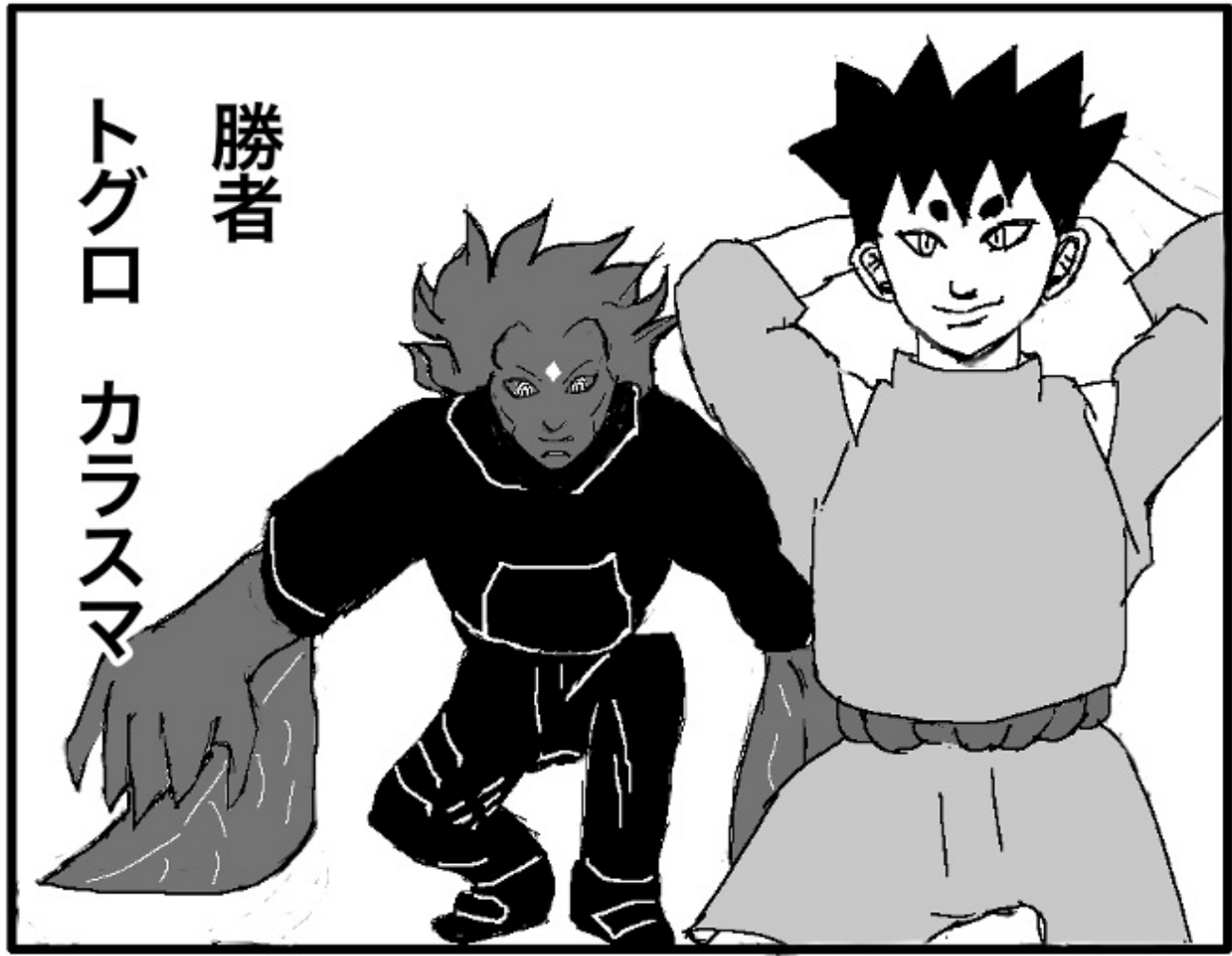
そんなのダメだあああ





トグロ君
目覚めたんだね

どうやら
一緒に
魔界に行ける
ようだな



勝者

トグロ
カラスマ





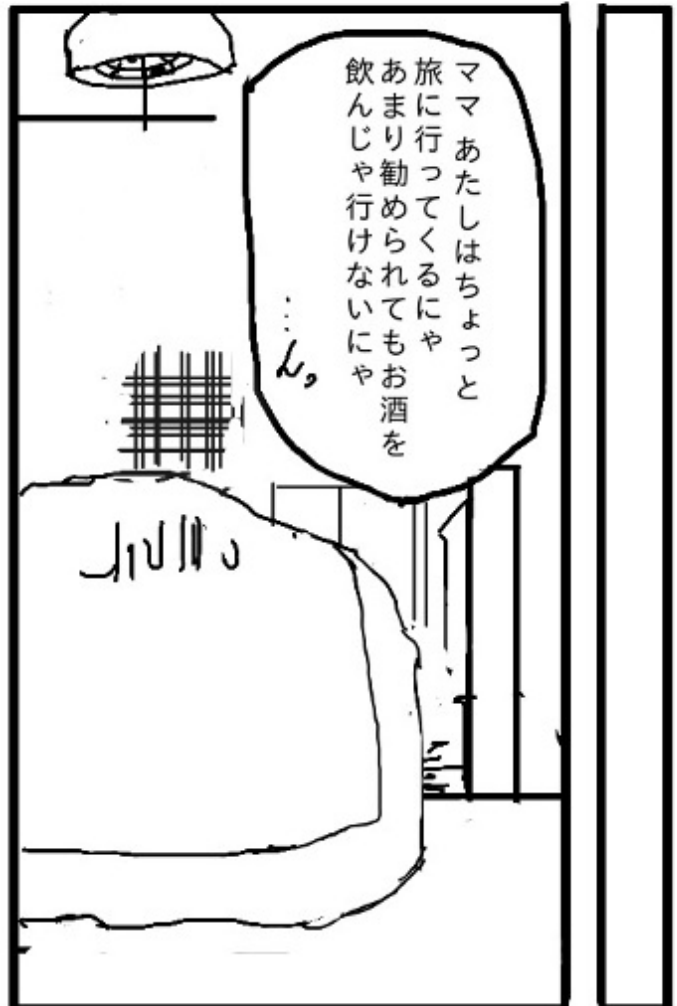
うんパパとママはいつ日本に帰ってこれるの
私は課題で旅に行くのよ
ええお手伝いさんには伝えてあるから分かったじゃあ…

トグロ君がここからは変化で妖気を変えてはいけなくて言うから分身変化が出来て良かったハクビヨウが懐いてるかららしい体力がきついけどあの格好じゃ学校には行けないわ



よっぽど危なかったらお前たちは先に帰ってもいい
キヨウと二人でオロチを探す
こいつどうしても魔界に行きたいらしいんだ
終業式がおわって夏休みになっただら出発だ

ふんっ学校の終業式か人間とは難儀だな
まあ俺も魚の干物やトカゲの調理と準備に忙しいがな



ママあたしはちょっと旅に行ってくるにや
あまり勧められてもお酒を飲んじゃ行けないにや
…ん、

ジューン
今日は
終業式よね

ンター

そうだよ
ちよつと父さん達に
話があつて・・・

お父さんなら
もう起きてるわよ



行ってきなさいジュン
私達には長年の
修行の成果がある



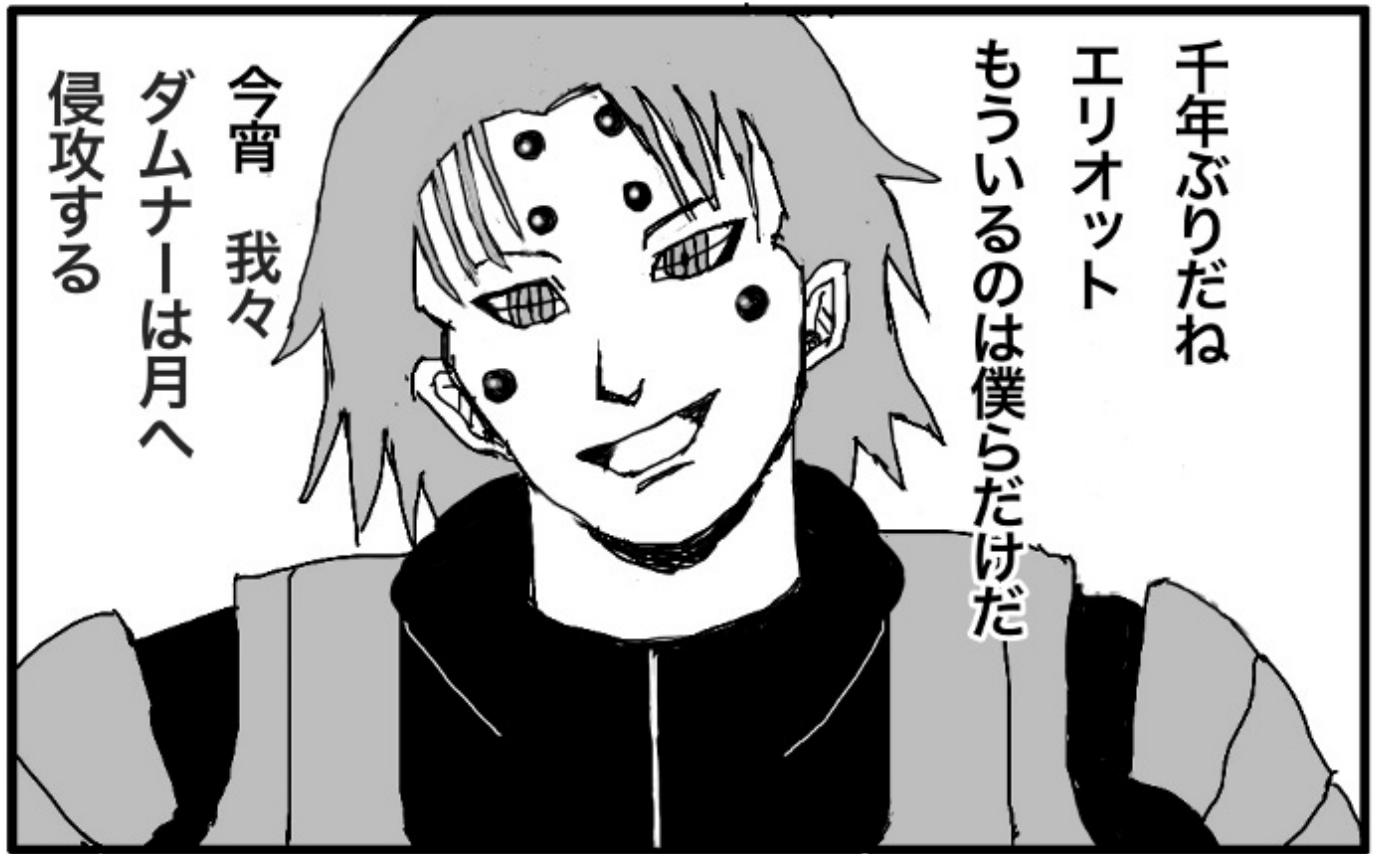
あの…
父さん…



母さんそんなに心配するな
我々クローンの最強の世代だ

あなた達は優しすぎるし
最強なのは妖魔化した時を
覚えているからでしょ
それはジュンの
記憶じゃないんだから

ありがとう
行ってくるよ父さん



千年ぶりだね

エリオット

もういるのは僕らだけだ

今宵 我々

ダムナーは月へ

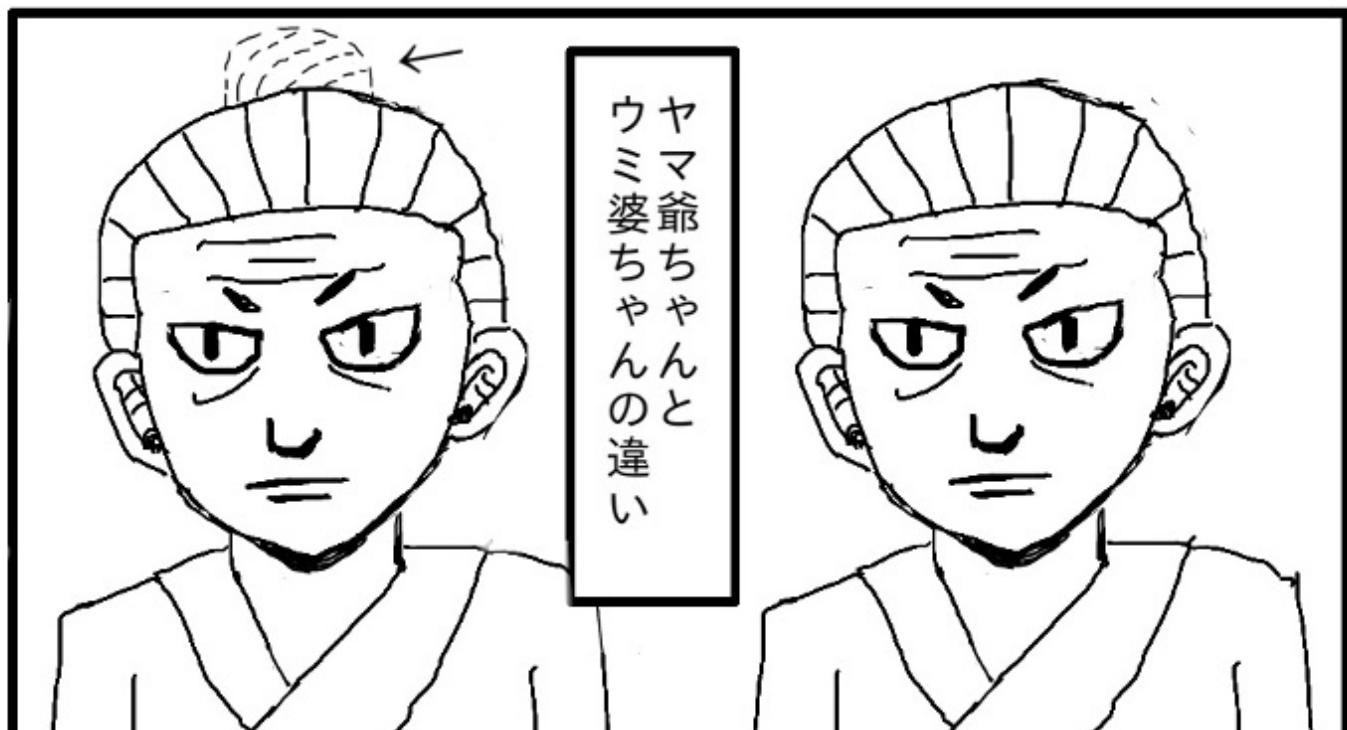
侵攻する

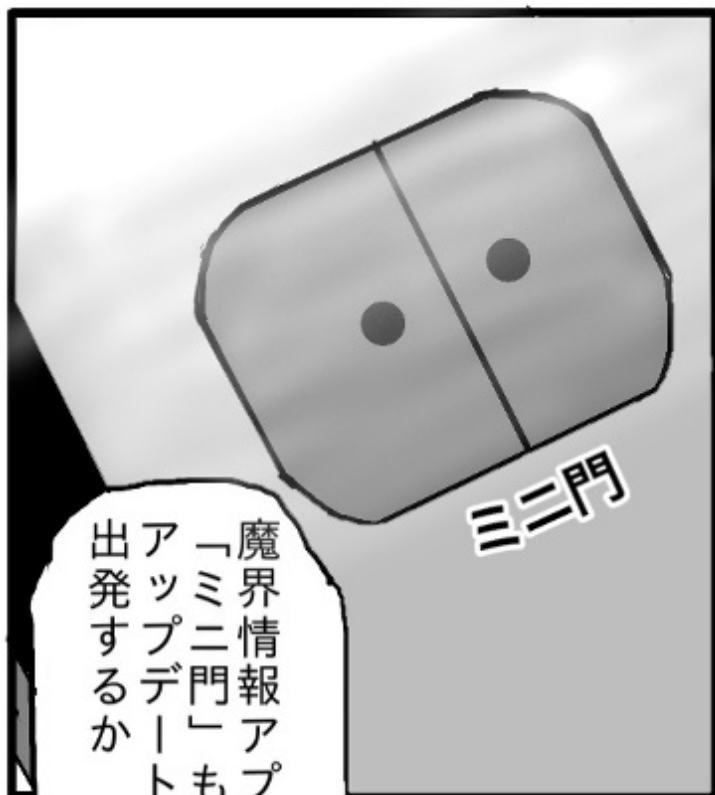


もうやめるんだ
それはお前の記憶じゃない

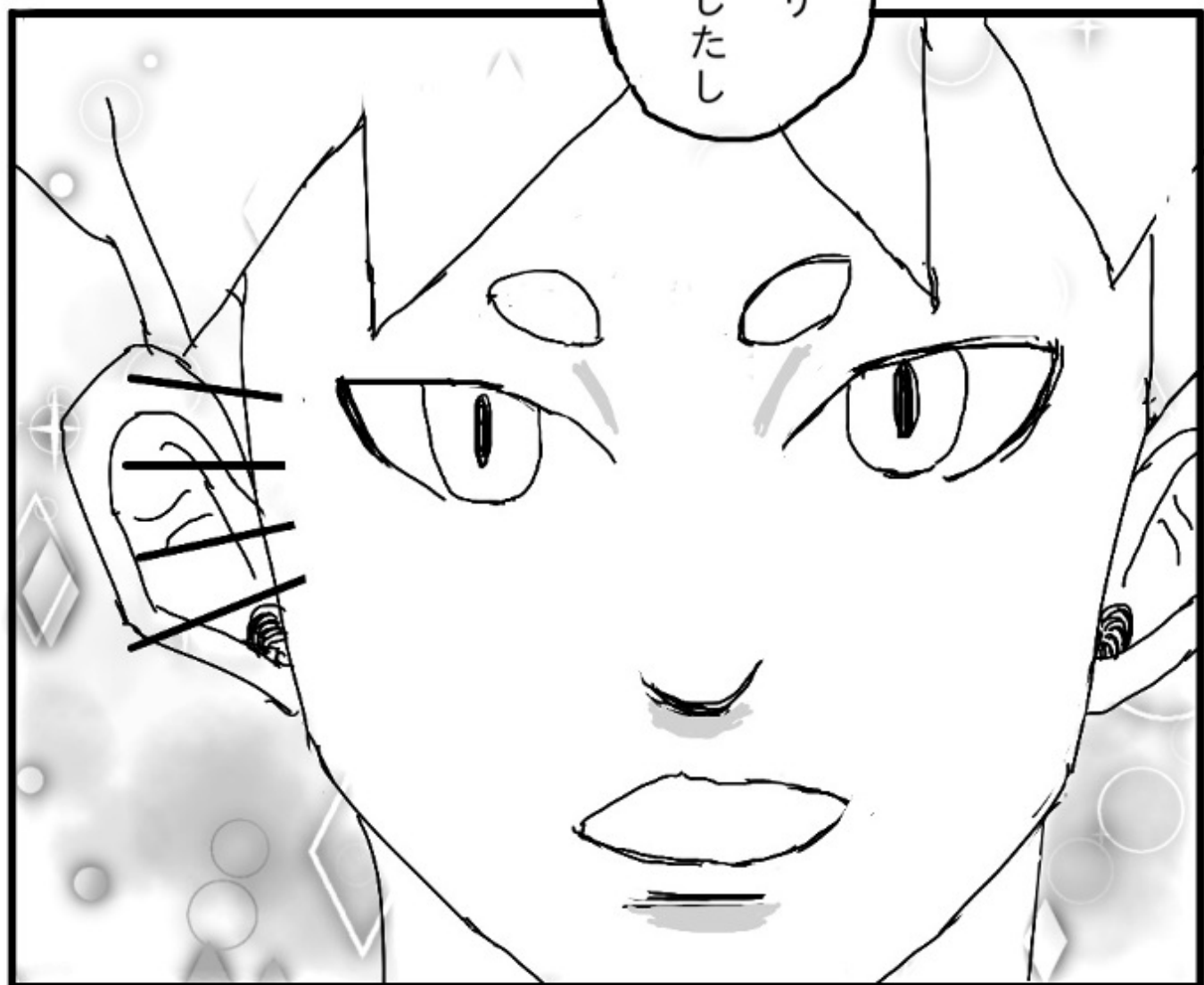


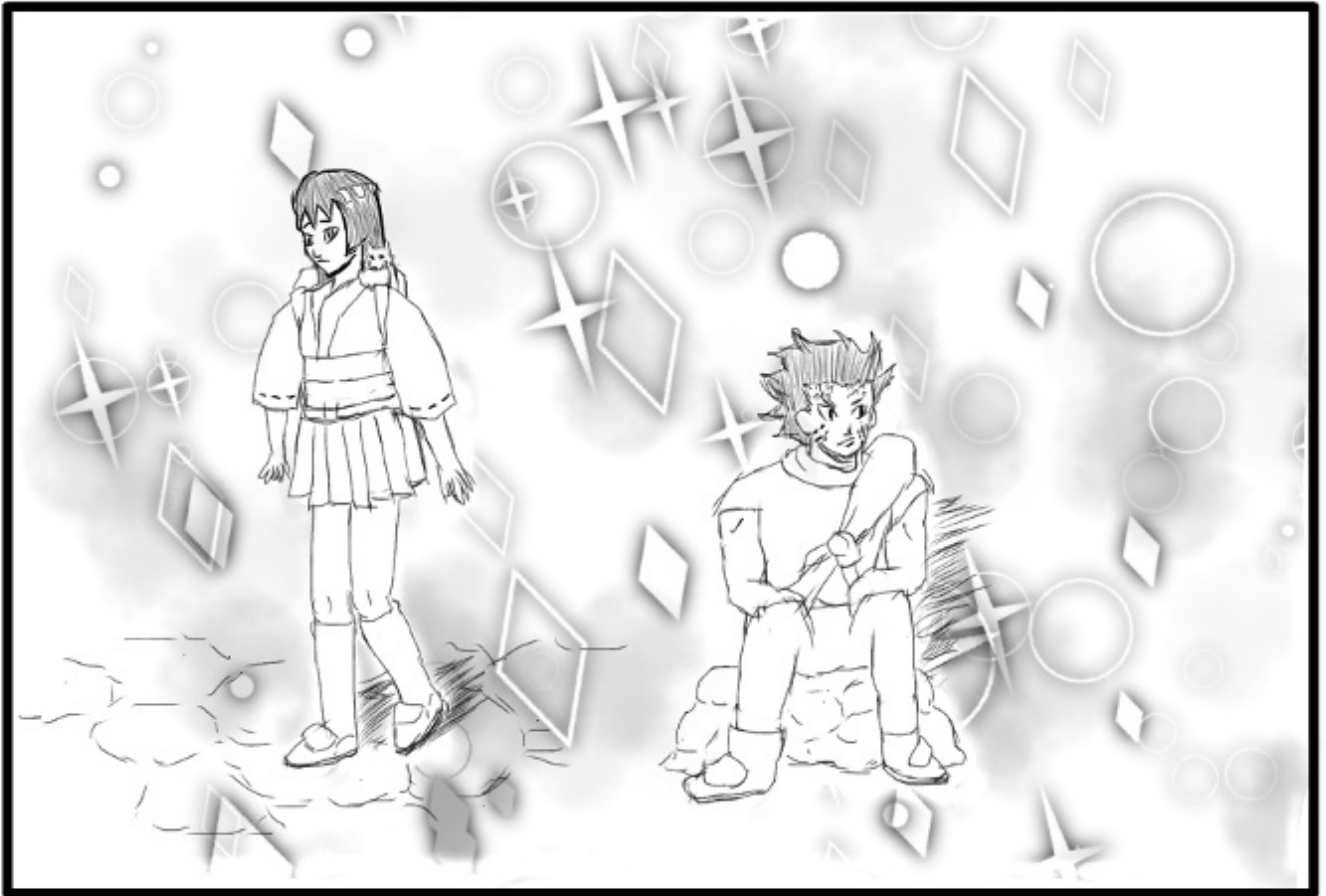
俺達はイリーガルだ

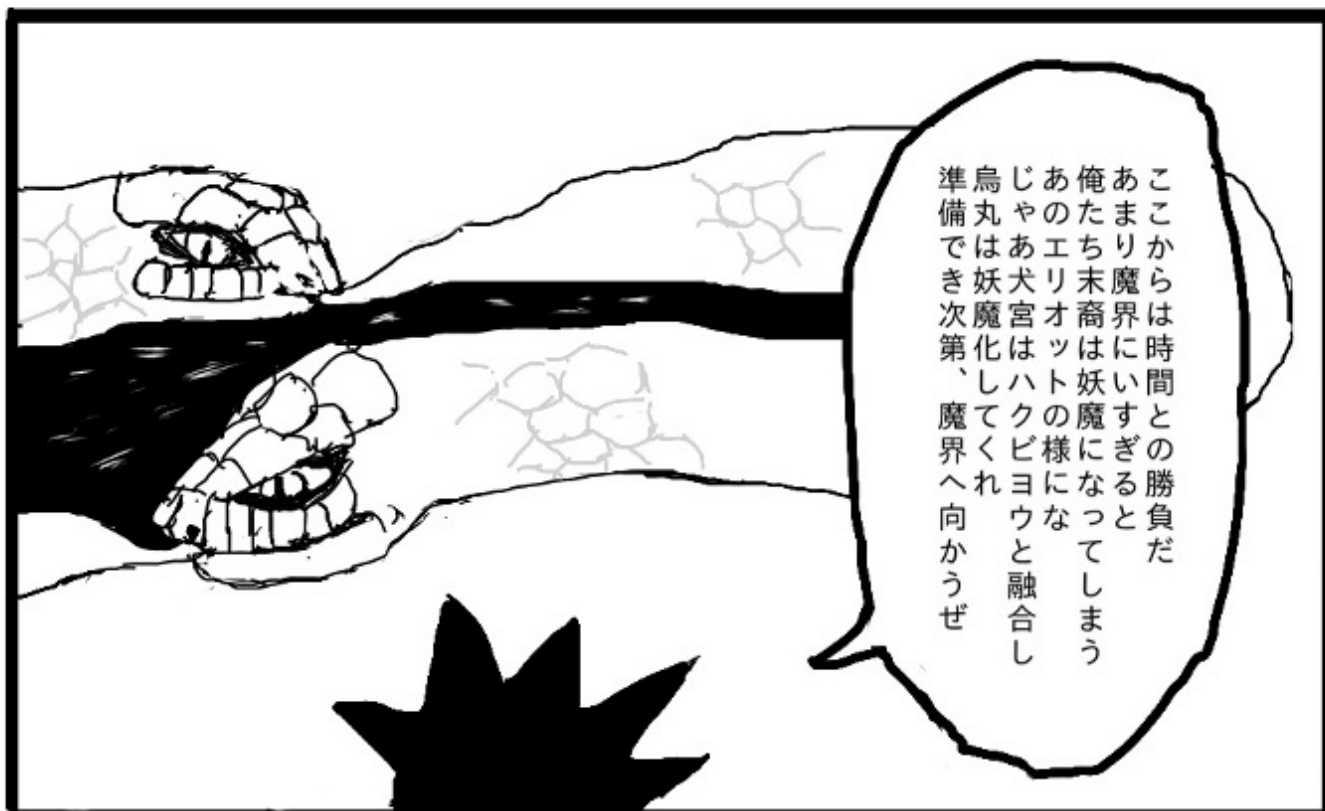




魔界情報アプリ
「ミニ門」も
アップデートしたし
出発するか







ここからは時間との勝負だ
あまり魔界にすぎると
俺たち末裔は妖魔になつてしまふ
あのエリオットの様にな
じゃあ犬宮はハクビヨウと融合し
烏丸は妖魔化してくれ
準備でき次第、魔界へ向かうぜ

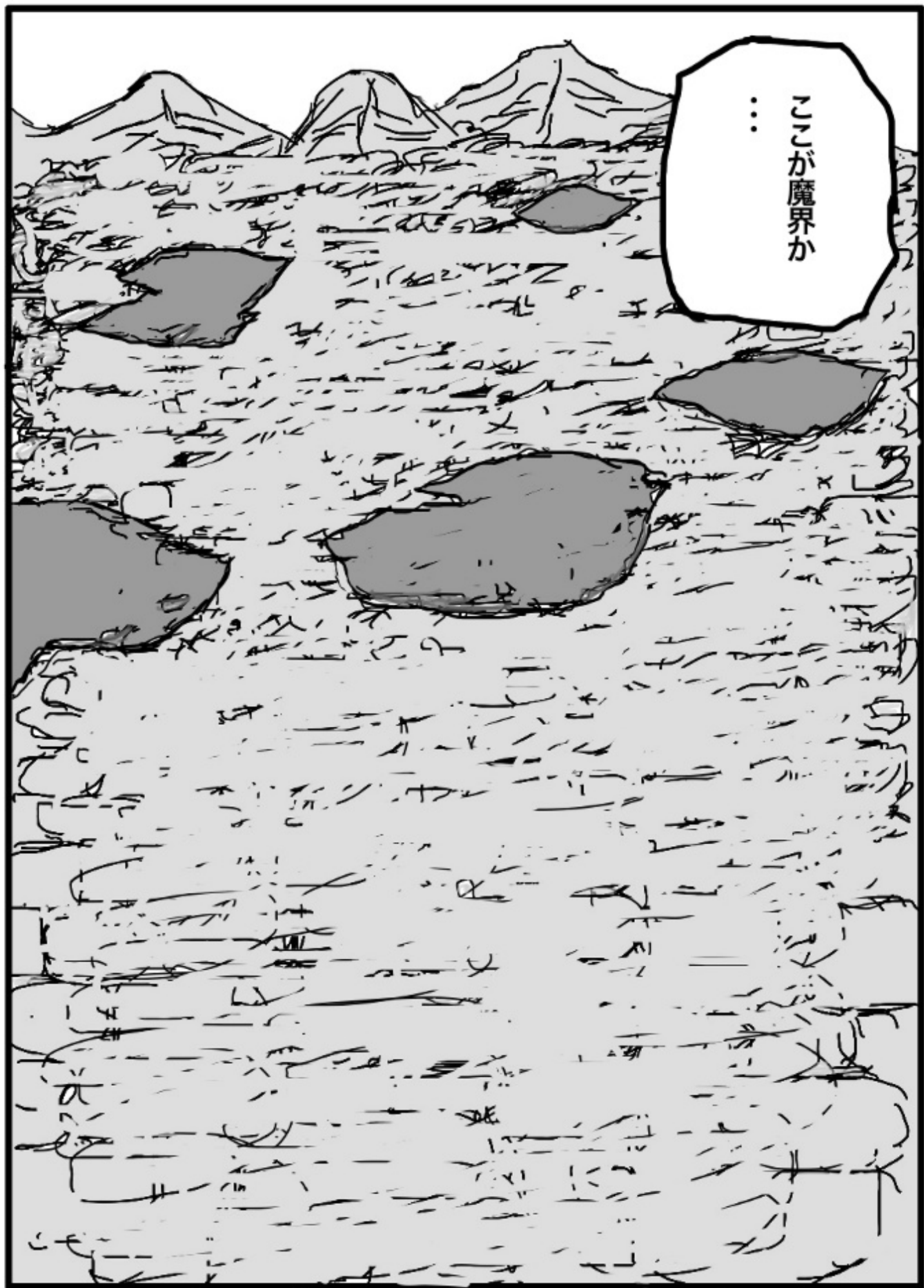


カラスマも良い
みたいだな
じゃあ行くぜ



ええ
準備は
できたわっ





ここが魔界か
...



懐かしいな
特に魔界は
変わってない様だ

鬼の町は近くにない様だな
ミニ門アブリのGps
でペビのいる場所に
蛇門で来たつもり
だったんだがな



いててっ
トグロ
こいつらをどける
急に空から
降って来やがって



何かがいるにやっ

ひゃっ
トグロ君この人は
何なの

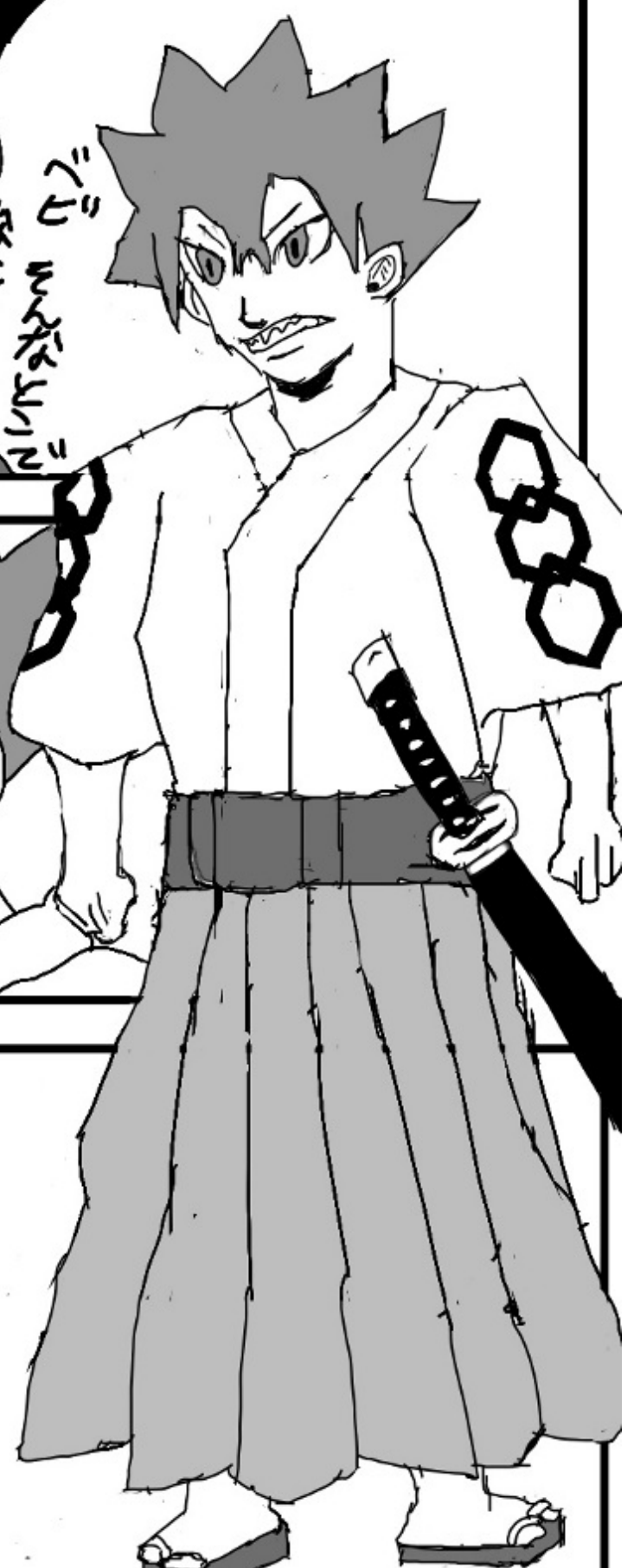




「ヒョウマンはクマの
お尻を食べてる」



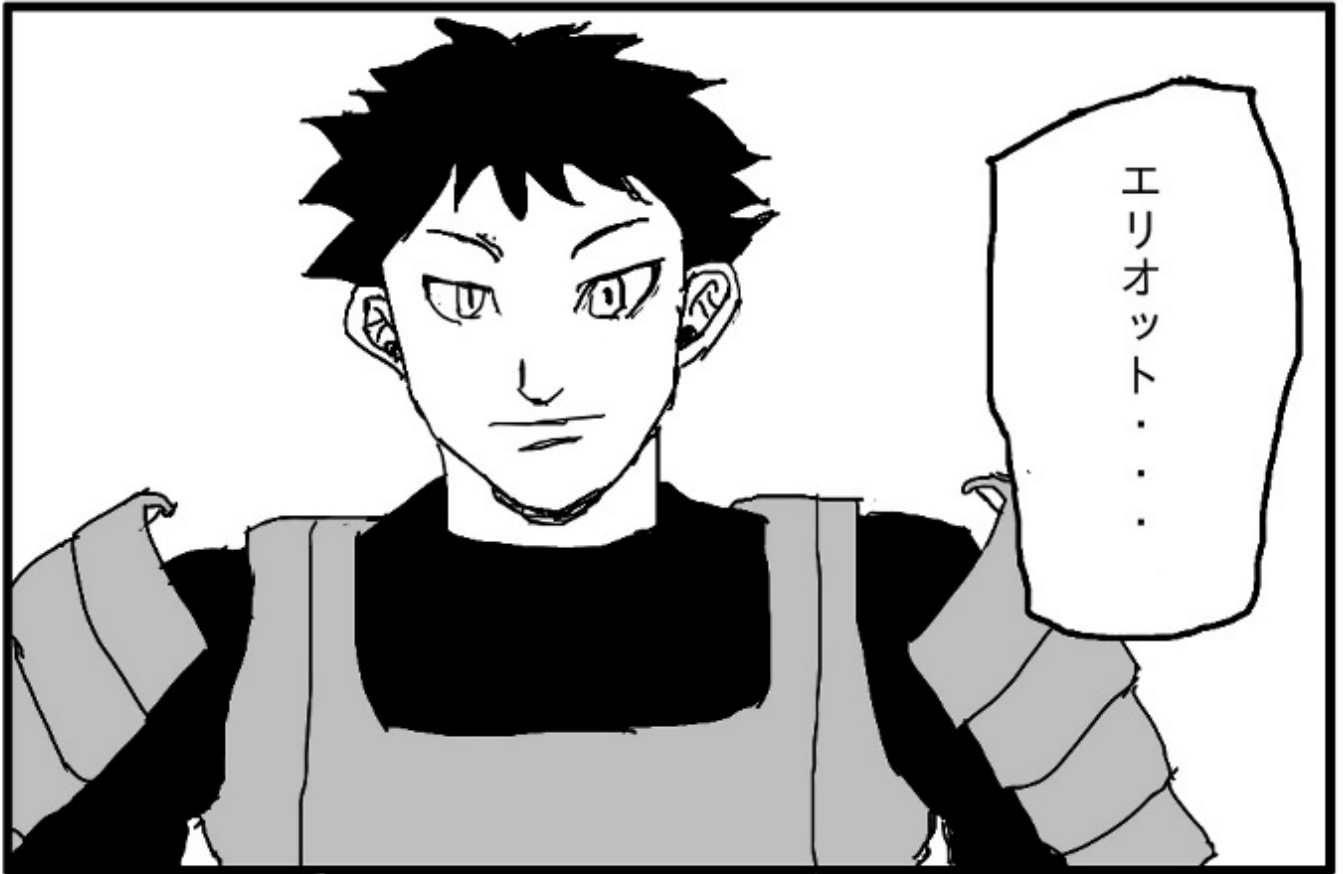
「ヒョウマンはクマの
お尻を食べてる」
まっちゃん
だんご



みんな紹介するよ
霸王といわれた蛇王の息子
蛇王子だよ
昔はこいつで召喚の練習を
して苦労したが今は
どうってことない

こんなチビが
霸王っていう
奴の息子って
どういうことだよ





エリオット……



君と戦いたい
思ってるね

その必要はない
お前の能力そして
弱点も分かった



戦い方も
分かったよ


• 神宿り 有象無象の秘密

自分にダメージ
↓
自分を複製する
↓
コピーで攻撃
↓
コピーがダメージ
↓
本物でダメージ

• 不死身の様に見せている


お前の能力は主に3つ
空間移動、複製能力、再生だ
そして複製能力を使い「神宿り」で
妖魔を複製して戦っている
そしてお前の技
「神宿り 有象無象」は
この三つの能力を
使って不死身の様に見せる
相手の攻撃と同時に自分を複製する
そしてコピーで攻撃をしながら
本体の再生をする
二回目の攻撃を受けたら
再生し終わった本物で相手に攻撃をする





イカルーダ色違い(妖魔化)

あいつが移動したらトグロ君をホイで
移動させる
そしてみんなをホイホイで守り
ホイホイホイで倒す
あいつが転生しても僕が戦い続ける



そんな事しなくても
俺が戦ってやる
こんなところで魔界で話題の
イリーガルと戦えるとわな
俺ってラッキーじゃ

第2章 「神宿り 有象無象の謎」

END